



# 私たちの 町議会びらとり



▲本町バドミントン少年団 練習風景

---

ここが聞きたい一般質問 ..... P2

---

委員会報告～質疑応答～ ..... P5

---

行政報告 ..... P8

---

審議した議案  
第11～13回臨時会・第14回定例会.....P9

---

あの人に聞く ..... P12

---

**VOL. 110**

**2022.2.10**

# ここが聞きたい一般質問

12月の定例議会では、3名の議員から5件の一般質問がありました。

## 四戸 正彦 議員

### 体力テストの調査結果を

#### どう活かすのか

**問** スポーツ庁が実施する小学5年生、中学2年生を対象とする全国体力運動能力運動習慣等の調査は、課題を把握、検証し、保護者や地域住民の協力のもとに、適切に連携を図りながら取り組むこととしています。今回の調査で全国、全道を下回る体力が明らかになったことを受け、日常的な体力づくりや体育的活動をどう進めていくのか伺います。

#### 答 (生涯学習課長)

各学校では、体力づくりや運動能力の向上に向け、教員同士で授業における指導方法の工夫や改善に取り組んでいるところです。具体的には、各学校の主体性も尊重しながらマラソンや縄跳び、一輪車を、冬季間では、カーリング、スキー学習なども取り入れています。町として



△小学校体育の授業

は、小さい頃から運動に親しむため、本町、貫気別、振内の3地区でリトルラビットクラブを開設し、様々なスポーツを通して、スポーツをすることの楽しさを体験してもらう取組みを行っています。少年団活動は、団員数の減少で、団体種目の維持が難しくなってきたっており、他町との合同チームを編成するなど、工夫しながら活動しています。今後は、家庭でできる体力づくりの方法、保護者や子供向けの教室などを実施していきたいと考えています。

### スポーツ推進委員の

#### 活動状況は

**問** スポーツの振興を図るためスポーツ推進委員はスポーツ協会、スポーツ少年団にどのような活動支援をしてきたのか伺います。

#### 答 (生涯学習課長)

地域や団体が開催するマラソン大会、スキー教室の運営や指導をしています。また北海道のスポーツ推進員の研修会への参加や平取町の生涯学習委員として、町の体育行政の計画とそれらの立案に携わっています。

各地域のスポーツ関連事業については、その内容により、準備や指導等の協力を、そして各スポーツ団体が開催する大会では、依頼の内容によってできる範囲で協力をしています。

### 小中学校の学力向上策は

**問** 全国学力学習状況調査の結果を踏まえ、各小中学校において、児童生徒の課題を把握するとともに、学校として伸ばしたい能力や足りない部分を分析し、授業の改善に向けどう取り組んでいるのか伺います。

#### 答 (生涯学習課長)

国語において読む力や書く力は、他の教科を学習する上でも必要であり、将来の社会生活でも重要となってきました。各小学校では、朝の読書や読み聞かせなどを実施したり、日記や作文により書く力を身につかせようと務めています。今後は、新学習指導要領にあります個々の適性に即した指導を行うために、教育推進研究事業による公開授業や各種研修への先生たちの参加を奨励して、教員の指導力の向上や授業改善が図られるよう、各学校の取組みを支援していきたいと考えています。

**問** 全国の57%の学校が新聞による学習指導を行っています。新聞の購入についても国からの財政措置がされますので、当町も学校図書として新聞を置き、学習に活用されてはいかがか。

**答** (生涯学習課長)

小学校については、二風谷小学校と貫気別小学校で子ども新聞を、中学校では、いつでも新聞が読めるような状況になっています。新聞を活用した授業については今後、各学校と協議をしていく考えです。

## 松澤 以夕子 議員

### びらとりダム

### 完成後の周辺整備は

**問** 平取ダムの管理棟、すずらん群生地、植物保全區、野外植物園は、それぞれの担当部署において整備が行われていますが、進捗状況を伺います。また観光客に案内や説明などをすること、理解が深まり、より

興味を持ってもらえたいと思います。そこで管理棟に総合案内所としての役割を持たせ、加えて関係課が連携してPRを兼ねたプランの作成などに取り組むべきと考えますが、いかがか。

**答** (アイヌ施策推進課長)

平取ダム管理棟は、令和4年度より一般の来館を予定し、現在、展示関係の作業を進めています。また管理棟周辺は、チノミシリを展望できる約2キロのフットパスコースとして、植物保全區は、アイヌ民族植物園として整備を進めています。この場所には、平取ダム建設工事で支障となる樹木や草本の移植、種から育てた苗木の植栽を行い、令和4年度の一般開放に向けて樹木や草本などの解説版の設置を準備しています。

また、5月末から10月末までの期間は、管理棟内の事務室にアイヌ文化保全対策室の職員を配置し、平日、土日を含め、来館者の対応を予定しています。周辺一帯の案内マップを配布し、施設の紹介や案内を行うことで、総合案内所的な役割を果たしていけると考えています。



△平取ダム管理棟

**答** (観光商工課長)

すずらん群生地環境整備として、令和元年度より調査や改修等を進めています。モニタリングにより、すずらんの生育や分布状況の経過等を調査し、その結果をもとに育成や環境の改善を図っています。また、観賞路等の改修についても順次行っていく予定です。

今までは、すずらんの開花時期に合わせてのPRや開場でしたが、平取ダムの関連施設ができたことにより、新たに観光資源が増えていくこ

とを踏まえて、関係課、関係機関と連携し、パンフレットの作成、看板の設置、雑誌等メディアへのPRや様々なSNSも活用しながら情報発信にも努めていきます。

**問** すずらん育成保全計画にある

除草作業は、一般公募の方や一部関係者だけでは作業する人が足りません。イベントなどを企画し、できる限り多くの人が参加できる仕組みを考えてはいかがか。

**答** (観光商工課長)

すずらん群生地の除草作業につきましては、団体個人の協力を得ながら取り組んでいます。今後も除草作業を続けるに当たり新たな仕組みづくりを検討していきます。



## 鈴木修二議員

### 国保病院内科医の

### 退職要請について

**問** 11月18日の産業厚生常任委員会において、町長から今年度で内科

医長に退任していただくとの報告がありました。優れた医師の存在は、町民の生命と健康を守るもので、町長の独断で決めるものではなく、町民の声を聞くべきと思うが、どのように考えていますか。

また、採用にあたっての条例には、特殊事情がなければ、3年を超えない範囲で任期を定めて採用することができると思うが、こういった判断で退職要請したのか伺います。

**答** (町長)

内科医長を招聘する際には、年齢に沿うよう定年年齢も65歳から70歳に条例改正をしました。定めた年齢を超えたということ、また今後の病院運営は、中長期的な視点に立って、より継続的に診療体制を確保していきたいと考え、任期付職員の採用に関する条例に基づいた判断で1年間の採用としました。

**問**

内科医師の募集をすでに行っているか、確保の目途は立っているのか。医師の募集に関しては、人材紹介会社からの場合は医師の報酬の30%もの紹介手数料を支払うと聞いているので、選択肢に入れることは避けるべきと考えるがいかがか。

**答** (町長)

公募先には、北海道地域医療振興財団などの公的機関と民間の紹介会社4社にも声かけし、すでに複数の方とお会いしています。手数料はかかりますが、多くの情報が入り、アドバイスも得られるので、医師を探すには有利な面があり、活用して進めていきます。

**問**

年度別の病院収支状況を見ると、年々患者数は減少しているものの、外来収益、特に内科の診療収益が占める割合は80%と上がっており、内科医長の着任前と比べ検査数が増えたことが収入の増加につながっていると思われます。患者に対して検査の必要性を理解していただきながら診療した結果、町長の公約した病院経営の健全化にも貢献してきたと考えます。加えて内科医長を残す強い要望や声を聞いていますが、退職について考え直していただけないか伺います。

**答** (町長)

私の方にもお手紙等で残してほしいという声は届いています。しかし、私は、新たな医師を招聘し、体制整備を図っていくという考えに変わりありません。残してほしいという声があることは、内科医長が信頼を受けていた証だと思いますので、町民を代表して、感謝の気持ちを述べさせていただきます。



## ◆住民懇談会の開催

### 申し込み

平取町議会では、町民の皆様から町政や町議会に対し日頃考えていること、感じていることなどの意見を伺い、今後のまちづくりに反映させていくため懇談会を開催しています。申し込みは、個人・グループ・団体を問わずいつでも受け付けていますので、お気軽にお申し込みください。

◆申し込み先

平取町議会事務局

平取町本町28番地(役場2階)

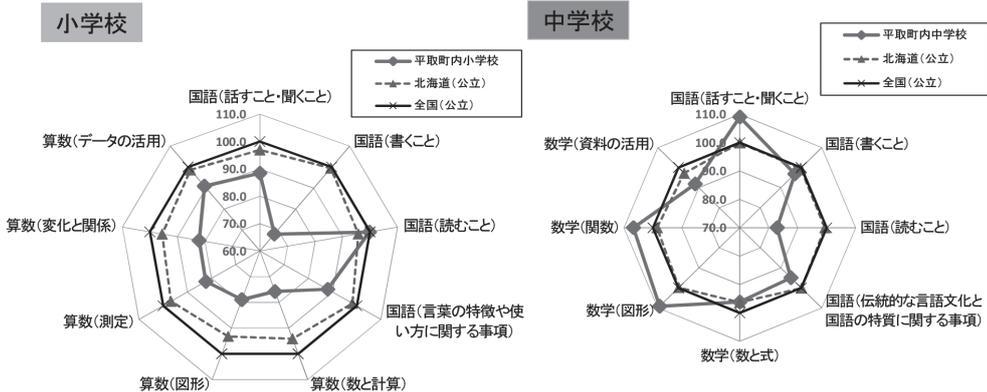
TEL 2-2227

FAX 2-3988



【教科全体の状況】

教科の領域等別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



11月18日開催 報告事項  
 ◆令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

総務文教常任委員会

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、5月27日に小学校6年生、中学校3年生を対象として全国一斉に実施されました。その結果、平取町の状況は、領域別で、小学校国語では「書くこと」、算数では「数と計算」、中学校国語では「読むこと」が全国全道平均との差が大きく下回り、中学校数学では「図形」「関数」は全国全道平均を上回りました。平取町においては「小学校で低いが、中学校ではかなり伸びてくる」という傾向にあるので、この結果をもとに小学校の早い段階での学習の習慣化や読書などによる理解力の向上、基礎学力の定着とその活用力を上げていくなど、学力向上策の推進を図っていきます。(教育長)

◆令和3年度アイヌ政策推進交付金事業について

新型コロナウイルス感染症の影響により、交付決定はされたが事業を実施しないもの、事業を縮小するもの、また事業内容の変更により事業費を増額するもの、計6事業について説明がありました。(アイヌ施策推進課)

産業厚生常任委員会

11月19日開催 報告事項  
 ◆令和3年度上半期の国民健康保険病院経営状況について

年度別上半期(4月から9月)診療収益状況

	国民健康保険病院			振内診療所		
	区分	患者数	診療収入(円)	区分	患者数	診療収入(円)
令和元年	入院	4,510	69,278,886	外来	1,105	5,512,856
	外来	10,100	47,191,327	訪問	572	3,696,450
	合計	14,610	116,470,213	合計	1,677	9,209,306
令和2年	入院	3,790	58,358,712	外来	1,056	4,994,321
	外来	9,353	51,193,795	訪問	407	2,823,130
	合計	13,143	109,552,507	合計	1,463	7,817,451
令和3年	入院	3,871	63,791,086	外来	972	4,645,062
	外来	9,056	58,647,961	訪問	359	2,278,700
	合計	12,927	122,439,047	合計	1,331	6,923,762

Q 派遣元の病院と協議したいと考えています。(鈴木)

Q 振内診療所の訪問診療が減っている原因は何か。(鈴木)

A 患者様が転居されたり、亡くなられたことが考えられます。

◆新型コロナウイルスのワクチン接種について(3回目追加接種)

2回目接種を終了した市民のうち、概ね8か月以上を経過した方に対して、追加接種を1回行うことが国から示されています。接種期間は、令和3年12月1日から令和4年9月30日まで、ワクチンは現在のところファイザー製で、対象年齢は18歳以上ということになっています。(保健福祉課)

Q 循環器内科、皮膚科、眼科、整形外科は患者数も多いので、もう少し診療時間を増やすことはできないか。(鈴木)

A 専門外来の医師は、平取で診療した後、札幌に戻ってからも午後診療をされている状況ですので、

Q 3回目が終わった段階で接種証明書などの発行を考えているのか。(千葉)

A 3回目については、別の接種済証が発行されるので、国としてもそれを認めるということで確認しています。

◆令和4令年度平取町合葬墓の整備  
について

整備場所については、本町の共同墓地を考えています。使用料は、近隣の状況も勘案し、1体1万円程度、生活保護者については、減免する考えです。墓誌の名入れについては、業者への支払が2万円ほどになる見込みです。整備費については、合葬墓そのものと墓誌用の墓石を含めて600万程度になります。

(町民課)



△新ひだか町合葬墓の視察

Q 生前に本人からの申請は受けられるのか。また成年後見人制度による申請は可能か。  
(松澤)

A 最終的な埋葬権者を確認しなければ、何らかのトラブルにつながる可能性があり、それが成年後見人制度を利用した意思表示とすることができるとかどうかも含めて、今後さらに調べていく必要があります。

Q 樹木葬は考えていないのか。  
(中川・千葉)

A 樹木葬もひとつの方法と考えますが、まだまだ検討すべきこともあるかと思っております。もう少し時間をかけて考えていきます。

◆医師住宅新築工事3号棟について

10月28日執行の入札で予定価格と12%以上の金額の開きがあったことと資材の高騰及び入荷時期の不確定により、年度内の完成が危ぶまれることから、今年度の医師住宅新築工事の発注を断念する旨の報告がありました。

Q 今年度、新築を中止したのであれば、旧医師住宅を改築することは考えていないのか。  
(中川)

A 医師招聘において、住宅環境の整備が優先的な条件になりますの

で、事業費は上がりますが計画どおり進めたいと思っています。

Q 病院敷地内の住宅であれば、オンコール（患者の急変や救急搬送時に対応ができる状態で待機すること）も可能ではないか。  
(金谷)

A 現在、医師は院内で当直業務に当たっています。働き方改革の推進もありますので、どちらの方法がいいのか、院内でも協議し、検討させていただきます。

◆町営牧野事業用地等取得に係る平取町営牧野管理条例の一部改正について

畜産公社の経営改善を図るべく、現在の体制から、自家保有繁殖雌牛を増頭更新し、自家生産による肥育牛を出荷する体制に経営転換します。そのため土地並びに繁殖牛舎、作業機械等を取得が必要になり、それらを管理する条例を改正するものです。

Q 牛舎が芽生と紫雲古津では、管理人員が不足するのではないか。  
(木村)

A 来年度、地域おこし協力隊を畜

産部門にも派遣し、今後さらにびらとり和牛の繁殖や肥育生産者を育成するための方法を模索していきます。



△畜産公社畜舎の視察

◆緊急自然災害防止対策事業債の活用について

この事業債については、地方財政措置が充当率100%、元利償還金に対する交付税措置が割と有利な起債であり、令和7年度までの事業期間がありますので、現在、事業を計画しているところです。

## 議員全員協議会

10月14日開催 報告事項

◆新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金事業実施計画について

緊急事態宣言に伴う事業者支援分が臨時交付金交付限度額に追加されたため、宿泊事業者等支援金給付事業など5事業を追加しました。

(総務課長)

◆日高山脈襟裳地域国立公園化について

この国定公園を国立公園化することとした公表以降に行われた環境省北海道事務所との意見交換や関係自治体連絡会議などの取組みが報告されました。

今後の対応として、文化的景観と結びつけることも検討しながら、エリアの指定範囲等について協議していきます。

(まちづくり課長)

10月26日開催 報告事項

平取ダム建設工事、イオル文化交流センター新築工事、芽生町有地整備及び畜産公社牛舎の現地視察を実施しました。



△平取ダム建設工事の視察

11月10日開催 報告事項

日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた動向や日高山脈の地形や生態系の特徴などを環境省北海道地方環境事務所・柳川課長補佐より、

またアイヌ文化と絡めた自然の風景

地の保護と利用による地域活性化への取組みなどを北海道大学観光光学研究センター・西山教授より講演をいただきました。

11月29日開催 報告事項

第6次平取町総合計画実施計画（令和4～7年度）について、実施計画に関わる財政計画と事業内容の説明がありました。

(まちづくり課長)

12月8日開催 報告事項

子育て世帯への臨時特別給付金事業について説明があり、町は、国の決定を受け臨時特別給付金のうち、先行して5万円の給付金を12月27日に給付することにしました。

(保健福祉課長)

## アイヌ総合政策 特別委員会

11月18日開催 報告事項

◆令和3年度アイヌ政策推進交付金事業について

事業計画の変更申請により、二風谷地区整備事業として工房の整備、

ウェブを活用したアイヌ文化のイベント等が交付決定されました。

また、イオル文化交流センター新築工事、アイヌ文化のブランド化推進事業について進捗状況の説明がありました。

◆平取町アイヌ文化振興公社事業について

①平取地域イオル再生事業

自然素材の採取や試験栽培、伝承活動や伝統工芸普及啓発、自然体験交流事業や町内に在任する古老からの聞き取り調査等、実施状況が報告されました。

②「21世紀・アイヌ文化伝承の森」プロジェクト

オオコノハスク・エゾフクロウの巣箱設置、アイヌ民具の素材と技術の継承、伝統的漁法や狩猟に関する試行等、実践状況が報告されました。

◆アイヌ文化環境保全対策事業について

地域文化保全対策業務としてのアイヌ語地名学習会、ガマ試験採取などの8分野の調査活動について実施報告がありました。

(アイヌ施策推進課)

# 行政報告

# 教育行政報告

## ◆要望経過報告について

ホッカイドウ競馬は、コロナ禍にもかかわらず、発売額が史上最高の522億円となりました。今後も継続的な発展が図られるよう、老朽化した施設のインフラ整備に係る必要な予算確保を日高総合開発期成会、日高町村会として道知事、道農政部長、道議会議長に要望しました。

## ◆日高地域公共交通確保対策協議会の取組状況について

この協議会は、各町の町長を委員として組織されています。主な決定事項は、JR北海道からの拠出金の各町への配分、基金管理の方法及びバス車両購入、運行継続に必要なバス事業者への支援です。協議事項は、転換バスのダイヤの見直し案、バス利用の促進対策、地域公共交通計画の策定などです。

## ◆町内小中学校の状況について

北海道の緊急事態宣言が9月30日まで延長されましたが、感染防止対策を徹底しながら、各中学校では文化祭・学校祭が、各小学校では学習発表会が行われました。

10月6日には、中学校英語暗唱大会が振内中学校で実施され、最優秀賞の生徒が新ひだか町で行われた管内大会に出場しました。



△英語暗唱大会表彰式

10月には平取中学校の修学旅行が函館、岩手方面で、また延期された小学校の合同修学旅行は、11月に登別、洞爺湖方面で実施しました。

また、2年ぶりに町指定の公開研究授業が振内小学校、紫雲古津小学校、振内中学校で実施され、先生方の研修の機会が得られたことは有意義であったと考えています。

11月末から小中学校の保護者を対象に、令和3年度から令和7年度までの平取町教育推進計画と各学校における児童生徒数の将来推計の説明会を実施し、保護者から意見や要望を伺い、質疑応答も行いました。

また、教育委員が10月下旬に町内各小中学校及び平取高校、平取養護学校を訪問し、授業参観後、児童生徒、学校の現況などの説明を受け意見交換をしました。

## ◆令和3年度全国学力学習状況調査の結果について

本年5月27日に全国学力学習状況調査が全国一斉に実施され、小学校

6年生は国語と算数、中学校3年生は国語と数学の2教科を実施しています。

小学校国語では、話すこと、聞くこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項で全国全道に比べより低く、特に書くことで大きく下回りました。算数では、全ての領域で全国全道をかなり下回りました。

中学校国語では、話すこと、聞くことで全国全道を大きく上回りましたが、読むことでは大きく下回りました。数学では、図形、関数が全国全道を大きく上回りましたが、資料の活用では全国全道に対して低くなっています。

これらの結果を踏まえ、平取町の学力向上策として、授業改善の推進、学習サポートの充実、ICT支援員を活用したオンライン研修会の開催、その他にもノート指導や学習規律の定着、各学校における朝の読書タイムや読み聞かせの実施、また、自分の考えを表現する力を養うための作文や中学生の主張大会を開催し

ています。

加えて教育委員会では、全国学力学習状況調査に合わせ、同日に小学校1年生を除いた児童生徒に標準学力調査CRTを実施し、一人一人の児童生徒の学力を把握し、経年での変化や成長、また課題となる点について分析と対応をしています。

### ◆令和4年度新入学児童に係る就学時健診等の実施について

10月22日に、令和4年4月から町内小学校に入学を予定している児童の健康診断等を実施しました。

令和4年度は、紫雲古津小学校5名、平取小学校22名、二風谷小学校2名、貫気別小学校3名、振内小学校2名の計34名が入学予定で、内科検診の他、児童の発達状況を調べる検査を実施しました。児童の状況によつては保護者と就学に当たつての相談等を行い、教育支援委員会の協議結果を踏まえ、児童に対し必要とする教育支援並びに環境等を整えていきたいと考えています。

## 審議した議案

第11回  
臨時会  
令和3年  
10月19日

▼農業委員会委員の選任  
原田和枝氏（荷菜）の選任に同意しました。

▼一般会計補正予算（第8号）  
平取小学校・平取中学校暖房機保守業務、新型コロナウイルス感染症防止対策に係る観光事業者支援金、その他感染症予防対策備品購入等1420万7千円を追加

第12回  
臨時会  
令和3年  
11月29日

▼一般会計補正予算（第9号）  
起業化支援対策補助金、貫気別老人福祉寮浄化槽改修工事、新型コロナウイルスワクチン接種業務経費、斎場火葬炉煙道修繕等1553万3千円を追加

▼特別会計補正予算

○国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

国民健康保険特別調整交付金等709万6千円を減額

○国民健康保険病院特別会計補正予算（第3号）

発熱者等診療・検査医療機関環境改善支援補助金150万円の追加  
医師住宅建設事業2490万円の減額

第13回  
臨時会  
令和3年  
12月8日

▼一般会計補正予算（第10号）  
子育て世帯への臨時特別給付金事業3266万5千円を追加

第14回  
定例会  
令和3年  
12月20日

▼人権擁護委員の推薦  
鈴木茂氏（本町）を答申しました。  
▼条例の制定  
「平取町中小企業・小規模企業振興条例」を制定しました。

中小企業・小規模企業の振興に関する施策を事業者や商工会と協議し、基本計画を定め、計画的に進めることを目的とします。

▼条例の改正

「平取町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」、「平取町実践農場設置条例」を一部改正しました。

▼一般会計補正予算（第11号）

福祉灯油助成金、中小企業特別融資資金貸付、鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業（シカ・ヒグマ等）補助金の増額、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う事業の中止による予算額の減額により、差引き予算総額を3904万1千円減額





○国保病院特別会計

令和2年度国保病院決算状況（収益的収支）

収入	医業収益	2億9297万円	支出	医業費用	7億6318万円
	医業外収益	4億6435万円		医業外費用	752万円
	特別利益	-		特別損失	-
	合計	7億5732万円		合計	7億7070万円
				当期純利益	▲1337万円

人口減少や高齢化が加速するなか、求められる医療ニーズは高度化・多様化し、また昨年より続く新型コロナウイルス感染症により、医療現場も大きな改善を強いられ、自治体病院を取り巻く環境は、さらに厳し

さを増している。

令和2年度決算においては、経営健全化の指標となる資金不足比率が算定されないため、ある程度良好な状況にあると認められるが、収益的収支では、一般会計から3億5680万円と前年同様に高額の繰入れとなり、依然として厳しい経営状況が続いている。令和4年度からは病院改革に係る企業債の償還が始まることも踏まえ、今後できる限り町財政を圧迫しない対策が喫緊の課題である。

そのようななかでも、医業収入においては、入院患者の減少から入院収益の伸びは見られないが、外来収益では、診療体制の維持や専門外来の開設により大きく伸びていることは評価できる。

町民の生命と健康を守る町内唯一の医療機関としての使命を果たし、地域の実情に即した医療サービスを提供し、収支バランスの継続していくため、均衡を図る効率的な医療体制と経営計画をもって、病院事業の健全運営

に向けた積極的な取組みを講じ、安全で安心な医療環境の提供を強く望むものである。

○一般会計及び各特別会計

令和2年度各会計決算状況

会計別	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越額	
一般会計	79億4097万円	78億6553万円	7544万円	
特別会計	国民健康保険	7億591万円	6億9060万円	1531万円
	後期高齢者医療	8億508万円	8億508万円	-
	介護保険	4億9840万円	4億5193万円	4647万円
	簡易水道事業	2億8757万円	2億8699万円	58万円

判断比率は、実質公債費比率が4.8%、将来負担比率については39.1%と算定されたが、ある程度健全な財政状態を示している。その一方で、経常収支比率においては、86.0%と、依然として高い数値であり、低い財政力指数と合わせ、引き続き財政構造の弾力性において注意が必要な数値となっていることから、継続的に将来の各種財政指標の分析は必要である。

令和4年度では、各事業の地方債起債償還に加え国保病院改革の償還も始まり、第6次総合計画の後期事業においては、新たに多くの投資的事業が見込まれている。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大・まん延により、今後も地域経済及び各事業に多大な影響を及ぼすことで、新たな財政負担増が予想される。

各会計の決算状況については、概ね良好な内容となっている。特に一般会計では、基金の取り崩しと町債の借り入れを最小限に抑え、健全化

恒常化しつつある人口減少に伴い、今後のまちづくりへの影響が懸念されるなか、限られた財源による地域振興と住民の福祉向上のため

に、引き続き歳出全般を見直し、将来に向け健全かつ持続可能な財政運営に望むところである。

収納関係については、町税収納率が現年度99.7%と職員ならびに関係各課の連携などの鋭意努力とともに、債権管理条例に基づき対策や適正な執行もあり、大いに評価するものである。

しかし、令和2年度の決算における歳入全体の収入未済額は、繰越明許等を除き1億495万円で、なかでも「住宅改良資金貸付金元利収入」や「町営住宅使用料」「専用枠使用料」の未収額は、依然として高額で推移している。

このことには、町民の公平・公正な負担、また自主財源の確保を図るうえでも、未収金の回収の積極的な継続的な取り組み、債権管理条例による適切な措置を講じるよう望むものである。

第6次総合計画等事業実施については、求められる地域住民サービスは多種多様化し、さらに様々な事業

が予定されている。限られた財源で計画的に実施していくために、まちづくり全体の将来を見据え、事業の必要性、有効性、優先性を検証・検討し、持続可能な財政基盤の確立を進めるとともに、相応の行政成果が達成されるよう執行にあたっては適正かつ的確に臨みたい。

国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険及び簡易水道各特別会計においては、概ね良好であると認められるが、未だ多くの未収額がある。公平な負担と安定した事業運営を図るため、効果的な収納対策に万全を期されるよう望むものである。



## 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

令和3年もまた日本中がコロナ禍で、不安な日々を過ごした年でありました。そんな中で開催されたオリンピックや様々なジャンルのプロスポーツで賛否はあるものの、日本人が世界を舞台に活躍した事は多くの人たちに感動と希望を与え、改めてスポーツや芸術・文化の持つ力の必要性を感じました。

今後はそれらの力も理解しながら、新しい生活様式、ウィズコロナを考えて生活して行かなければならないと思っています。

振り返りますと昨年同様、議員一人一人が何を発言し、各案件にどう向き合ったのかをできるだけ多く掲載することに傾注する余り、文字ばかりの読みづらい構成になったのではないかと反省しきりです。

今後も研鑽を積むことを忘れず、皆様に親しまれる広報誌を目指し努めて参りますこととお約束し、年頭の挨拶とさせていただきます。



広報公聴特別委員会

広報担当委員

〈委員長〉

櫻井 幹也

木村 英彦

中川 嘉久

井澤 敏郎

金谷 満

萱野 志朗



# あの人に聞く

～1月9日 平取町成人式 新成人の方たちに聞きました～

- ①20歳になって成人式を迎えた今のお気持ちはいかがですか。②将来の夢や目標などを教えてください。③町や議会に何を望みますか。④どなたかに一言お願いします。(親、友人、恩師など)



いけがわ ことこ  
池川 琴胡 さん

- ①まだまだ周りから甘やかされていると感じることが多く、世間一般的には大人であるという事実にはピンときません。自分が昔思い描いていた20歳の姿とは大きく異なりますが、自分の行動に責任が生じることを自覚して過ごしたいと思います。
- ②具体的に決まっているわけではありませんが、将来は誇りを持てる仕事に就きたいです。また、現在学んでいる心理学を活かして人の役に立ちたいと考えています。そのために、常に勉強を怠らず視野を広げられたらと思います。
- ③人口の減少が著しいため、町外の人に魅力を知ってもらうことで移住者が増えれば良いなと思います。そして誰に対しても寛容で、皆の心が休まる町になってほしいです。
- ④これまで自分をかたちづけてくれた全ての人々に感謝しています。家族には迷惑をかけてばかりでしたが、精神的、経済的に自立して立派な人間になれるように頑張りたいです。これからは少しずつでもお返しをできたらと思います。



はらだ そうじ  
原田 壮 さん

- ①20歳という人生の区切りとなる日を迎えられることに喜びを感じると共に、自分達が子供たちを支える立場になるという責任と不安を感じています。まだまだ未熟な私たちですが、大人の世界への入門に優しく手を差し伸べて下さると嬉しいです。
- ②将来は教職に就きたいと考えています。また、幅広い視野を持ち就職活動本番までに様々な経験を積むことでバラエティ豊富な人間になりたいです。
- ③自然に囲まれた平取町ならではの魅力を町に来てもらったときに期待以上に感じてもらえるような温かみの溢れる町になったらいいなと思います。
- ④いつも近くで支えてくれた家族、親戚、勉強や部活動などで助け合った先輩、後輩、なにより同級生に感謝を伝えたいです。僕一人では絶対にできなかった経験をたくさんさせてもらいました。本当にありがとうございます！

- ①毎年先輩方の成人式の写真を見て、自分が成人式を迎える日を楽しみにしていたので、とても嬉しいです。コロナ禍の中、成人式を開催して下さったことに感謝しています。
- ②看護師になることです。今は札幌の学校に通い勉強しています。たくさんの課題や実習などで大変ですが、立派な看護師になれるよう頑張ります。
- ③平取町は温かい方がたくさんいらっしゃり、とても居心地の良い町だと感じています。このような町の雰囲気がこれからも続いていくと良いなと思います。
- ④振内の同級生のみんなへ  
夏休みや冬休みにはみんなに会えることを楽しみに、その直前にある定期テストを乗り越えています。今の時期は気軽に集まることができませんが、状況が落ち着くことを願って、またみんなと楽しく笑いあえる日を楽しみにしています。みんなの笑顔が大好きです。



ふくざわ よしの  
福澤 佳乃 さん

- ①「成人したら全て自分の責任だからね。」と母親に言われ続け、いざ成人を迎えた今、正直全く実感が湧かず困惑しています。しかし20歳になった以上は相応の自覚を持つことを目標に日々過ごしていきたいと思っています。
- ②過程はともかくとして、最終的には平取町で農業をしたいと考えています。その結果として、毎日新鮮でおいしい野菜とお米を自分や家族、そして地域の方々へ食べていただければ幸せです。
- ③若者の地元離れが深刻化していますので、帰郷する者に向けた政策が増えることを望みます。
- ④両親へ  
生まれてから今まで大きくて優しい、時に厳しい愛で育ててくれてありがとう。いつも危なっかしい僕を見守ることは大変でしょうが、どうか諦めないで下さい。晴れて成人を迎えた僕ですが、どうかまだ子離れせずに、変わらぬ愛を注いでくれることを願っています。  
P.S.来年もお年玉下さい。



いとう かずあき  
伊藤 和陽 さん

私たちの町議会 **びらとり** 2022.2.10 VOL.110

■発行／平取町議会 ■編集／広報公聴特別委員会

〒055-0192 沙流郡平取町本町28 TEL 01457-2-2227

\*この広報誌は再生紙を使用しています